

特別研究部門

水口陽子、野村憲一、高柳智子、飯吉令枝、井上智代、水沢泰正

I 特別研究部門の経過

特別研究部門は、2010年(平成22年)1月に上越で行われた移動知事室において本学の前学長から「都会で生活している人たちが、上越地域の自然に触れ、人々と交流しながら健康な生活と安心できる福祉を考えるきっかけをつくる事業」としてメディカルグリーンツーリズムが提案され、平成22年度より活動を開始した。平成28年度までの6年間、妙高市の健康推進事業への協力を中心に活動していた「メディカルグリーンツーリズム」の事業を特別研究部門としては終了し、平成29年度は、「地域調査支援」、「センター特別研究」のグループを構成して活動している。

II 各研究グループの活動

平成29年度特別研究部門の活動報告として、「地域調査支援」、「センター特別研究」について、それぞれの主たる担当メンバーが報告する。地域と連携して活動させていただく中で、地域の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

1. 地域調査支援活動概要

高柳智子、飯吉令枝、井上智代、野村憲一

1) 地域調査支援グループの活動目的

本グループは、新潟県内の地域課題に対応した調査支援を、行政や地域の関連諸機関と連携して行う活動をしている。

2) 平成29年度活動概要

今年度は下記の課題について、県内の公的機関と協働して取り組むことができた。

①長岡市山古志支所との共同調査支援

長岡市山古志地域に暮らす住民が、山古志で暮らし続けるための地域づくりの課題を明らかにすることを目的として同市山古志支所保健師と共同で調査を計画した。平成28年度に実施した高齢者へ調査に引き続き、平成29年度は壮年期の地域住民を対象に調査を実施し、山古志で暮らす高齢者・壮年期の住民の現状と課題を整理した。

2. センター特別研究活動概要

水口陽子、水沢泰正

1) センター特別研究グループの活動目的

本グループは、新潟県内の地域課題の解決につながる研究を行政や地域の関連諸機関と連携して行う企画に取り組む。

2) 平成29年度活動概要

地域における課題(健康福祉の増進および看護職の育成など)の解決につながる研究テーマを選定し、次年度から取り組む準備をしている。新潟県ならびに上越地域の関係諸機関と情報交換しながら、次年度に研究に取り組むテーマを絞り込んだ。